

M-15 藤原岳 (1140m)

【山行日】2022年1月3日

【CL】3283 【参加者】2778 3096 3225 3277 3304 3373 3385 3426 3439 3524 3561 3590
3598 3602 3639 3646 3663 3694 3713 20名

【コース】大貝戸登山口 9:10…11:20 八合目…12:20 避難小屋 12:35…13:00 藤原岳山頂
…13:40 避難小屋 14:00…15:00 八合目…15:40 大貝戸登山口

2022年新春の初登山は雪山の藤原岳、今年は例年になく雪が多く、三岐鉄道の車窓から見える畑や山々も真っ白！昨年末から雪が降り、そしてお正月もさらに雪が降り、とても山行が楽しみ。

藤原岳の近郊に住む方から年末70cm雪が積もり、その後雪が溶けたと聞いていた。情報通り、登山口から雪が深く、アイゼンを履いて出発する。いつもは泥まるけの1～3合目にも雪がつき、適度に踏み固められてとても歩きやすい。楽しく歩くこと2時間、八合目に到着。雪道を歩くとみんなハイテンション！八合目からの急登な冬道はさらに雪がいっぱい、踏み跡はしっかりついているが、ところどころ、新雪にも踏み跡がついている。そちらに行くと腿ぐらいまで雪あり、アイゼンでは歩けない。しかし、冬道は最短で道が作ってあり、あっという間に9合目。ここから眼下に見える四日市の町は雪で覆われ、周りの山々や木々にも雪がついている。

さあ、避難小屋まであと少し、やや曇っていたが、風も強くなく、快適に到着。ここから、ワカンに履き替え山頂を目指す。見渡す限りの雪、スキー場に來たかと思間違えるほど、雪と木々の幻想的な風景。カレンダーか水墨画にも使えそうなすばらしい風景にみんな感動する。頂上までの雪が深い坂を、足を取られながら、一步一步踏みながら登る。わーい！山頂到着！

5名ずつの4班に分かれて行動したので、山頂では集合写真は撮れなかったがみんな笑顔！気温が低く、すぐに下山し、避難小屋に戻り、ゆっくり昼食。コロナ禍で密になることを心配したが、適度に空いていた。

楽しいホットした食事の時間もあっという間にすぎ、帰りはアイゼンやワカンなどを履いて、来た道を下山。ところどころ、尻滑りの道があったので、私たちも尻滑り。雪がふわふわなので、スピードが出ることなく、みんなキャーキャーいいながら、童心に戻りながら滑って下山。あっという間に8合目まで到着。ここからは歩いて、下山。雪がしっかりついていて、とても歩きやすい雪道。今回の山行は、低山雪山シリーズの山行に追加したので、雪山初めての人がたくさん参加してくださった。その方々が、雪山とても楽しかったと言ってくださったのが、とてもうれしかった。(3283)

